

つきたい力

これまで身につけてきた「考動力」・「対話力」を生かし、他者に自分の考えをより良く伝える「発信力」を向上させる。

取組みの概要・ポイント

ICT機器を活用し、自分の考えとその根拠をまとめ(考動力)、みんなと共有し、他者の考えやその根拠に触れる(対話力)。それにより、他者の考えと比較し、より説得力のある表現につなげる(発信力)。

具体的な取組みの内容

生徒の学力の向上をめざす取組み

協働学習ツールを活用した 意見の発信・交流

- ・班で役割を分担し、インターネットや参考文献を使ってまとめたものをスライドにして発表
- ・リアルタイムでの質問や感想のやり取りによる、他者を意識しながらのより良いプレゼンテーション
- ・クラスの枠をこえて、オンライン会議を活用したプレゼンテーションと、質問や感想のやり取り



デジタルドリルを活用した反復学習による 基礎学力の習得

- ・朝学習や休み時間など、自己調整しながらデジタルドリルの課題に取り組む
- ・授業時間内に、時間を設定して取り組み、即時に解答を確認



教育用ゲームを活用した 既習内容の確認

- ・授業の導入として、前時の授業内容を楽しみながら復習
- ・その後すぐに小テストを行うことで、知識の定着を図る

教職員の授業力の向上をめざす取組み

SS担当中心に教職員全員で

- ・テーマを絞った毎月の教科会議
- ・学期に1回、課題解決のための授業参観シートをもとにした相互授業参観の実施
- ・ICT機器を活用した業務改善による教材研究の時間確保
- ・情報活用能力の育成に向けた外部講師による研修



SS通信の発行

- ・教職員に向けたSS通信の発行
→アンケート結果から見える課題や成果の共有
- ・ICTを効果的に活用した提案授業の企画
- ・提案授業の日時と内容を案内
→参観後の感想やその後の関連した取組みも記載



高石市立高石中学校特設ページ

取組みを通しての子どもの変容

一人一台端末についての生徒アンケートより

定期テストの結果より

- ・国語や社会の知識・理解を問う問題では、正答率が伸びた生徒が増加。(デジタルドリルによる基礎学力の定着)
- ・理科や社会の思考・判断・表現を問う問題では、必要な情報を取り入れて解答できる生徒が増加。(情報活用能力の向上)

- ・毎日クロームブックを使っていますか？ 1学期(63%)→2学期(88.7%)
- ・クロームブックを持ち帰り、自分のペースで課題や学習を進めることができますか？ 1学期(62.6%)→2学期(73.7%)